

No. 3 加味逍遥散

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剤名	加味逍遥丸	加味逍遥散	加味逍遥散
処方	当归 300g 柴胡 300g 白芍 300g 白朮 (麸炒) 300g 茯苓 300g 甘草 240g 牡丹皮 450g 梔子 (姜炙) 450g 薄荷 60g	当帰 3 柴胡 3 芍薬 3 白朮 3 (蒼朮も可) 茯苓 3 甘草 1.5-2 牡丹皮 2 山梔子 2 生姜 1 薄荷葉 1	当帰 9g 柴胡 9g 白芍 9g 白朮 9g 茯苓 9g 炙甘草 4.5g 牡丹皮 3g 山梔子 3g 煨姜 3g 薄荷 1g
製法	以上九味、粉碎成細粉、過篩、混勻。 另取生姜 100g、煎液泛丸、干燥、即得。		
用法	口服、一次 6g、一日 2 次。	湯	水煎服。
効能・主治	舒肝清热、健脾养血。 用于肝郁血虚、肝脾不和、两胁胀痛、头晕目眩、倦怠食少、月经不调、脐腹胀痛。	体力中等度以下で、のぼせ感があり、肩がこり、疲れやすく、精神不安やいらだちなどの精神神経症状、ときに便秘の傾向のあるものの次の諸症： 冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症*、不眠症	疏肝健脾・和血調経・瀉火。 肝鬱血虚・化火で、いらいら・怒りっぽい・顔面紅潮・口乾・脈が弦数などをともなうもの。
注意	切忌气恼劳碌、忌食生冷油腻。		
掲載頁	667	32	113
その他		* 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。 原典：万病回春	出典：内科摘要

No. 4 帰脾湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	归脾丸	帰脾湯	帰脾湯
処方	党参 80g		
		人参 2~4	人参 4.5g
	炒白朮 160g	白朮 2~4 (蒼朮も可)	白朮 9g
	炙黄芪 80g	黄耆 2~4	黄耆 9g
	炙甘草 40g	甘草 1	炙甘草 3g
	茯苓 160g	茯苓 2~4	茯神 9g
	制远志 160g	遠志 1~2	遠志 3g
	炒酸枣仁 80g	酸棗仁 2~4	酸棗仁 9g
	龙眼肉 160g	竜眼肉 2~4	竜眼肉 9g
	当归 160g	当帰 2	当帰 3g
	木香 40g	木香 1	木香 4.5g
	大枣 (去核) 40g	大棗 1~2	
	生姜 1~1.5		
製法	以上十一味、粉碎成細粉、過篩、混勻。毎100g 粉末用煉蜜25~40g 加適量の水泛丸、乾燥、制成水蜜丸;或加煉蜜80~90g 制成小蜜丸或大蜜丸、即得。		
用法	用温开水或生姜湯送服。水蜜丸一次6g、小蜜丸一次9g、大蜜丸一次1丸、一日3次。	湯	生姜・大棗と水煎服用する。上記の割合で蜜丸にし、1日3回15g ずつ服用してもよい。
効能・主治	益気健脾、养血安神。 用于心脾兩虛、气短心悸、失眠多夢、头昏头晕、肢倦乏力、食欲不振、崩漏便血。	体力中等度以下で、心身が疲れ、血色が悪いものの次の諸症:貧血、不眠症、神経症、精神不安。	益気補血・健脾養心。 (1) 心脾兩虛 動悸・健忘・不眠・発熱・食欲不振・倦怠感・顔色が萎黄・舌質は淡・舌苔は薄白・脈は細緩など。 (2) 脾不統血 血便・皮下出血・不正性器出血・月経周期の短縮・経血色が淡く量が多い・月経の持続が長い・帯下など。
注意			
掲載頁	643	43	239
その他		原典:濟生方 出典:内科摘要	

No. 5 桂枝茯苓丸

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	桂枝茯苓丸	桂枝茯苓丸	桂枝茯苓丸
処方	桂枝 100g	桂皮 3~4	桂枝 9g
	茯苓 100g	茯苓 4	茯苓 9g
	牡丹皮 100g	牡丹皮 3~4	牡丹皮 9g
	⓪白芍 100g	芍薬 4	⓪赤芍 9g
	桃仁 100g	桃仁 4	桃仁 9g
製法	以上五味, 粉碎成細粉, 過篩, 混勻, 毎 100g 粉末加煉蜜 90~110g, 制成大蜜丸, 即得。		
用法	口服, 一次 1 丸, 一日 1~2 次。	(1) 散: 1 回 2~3g 1 日 3 回 (2) 湯	水煎服。粉末を蜜丸にし、1 日 3~6g を服用してもよい。
効能・主治	活血, 化瘀, 消癥。 用于妇人宿有癥块, 或血瘀经闭, 行经腹痛, 产后恶露不尽。	比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの次の諸症: 月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症*、肩こり、めまい、頭重、打ち身(打撲症)、しもやけ、しみ、湿疹・皮膚炎、にきび。	活血化瘀・緩消癥塊。 血瘀・癥塊。下腹部の腫瘍・圧痛・腹のひきつり・脈が渋、あるいは不正性器出血・月経痛・無月経、あるいは難産・胎盤残留・死胎の残留・悪露停滞など。
注意	孕妇慎用。		
掲載頁			
その他		* 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。 原典: 金匱要略	

No. 6 啓脾湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	啓脾丸	啓脾湯	啓脾湯
処方	人参 100g	人参 3	人参 6g
	炒白朮 100g	白朮 3-4 (蒼朮も可)	白朮 9g
	茯苓 100g	茯苓 3-4	茯苓 9g
	甘草 50g	甘草 1	炙甘草 2g
	陈皮 50g	陳皮 2	陳皮 3g
	山薬 100g	山薬 3	山薬 6g
	蓮子(炒) 100g	蓮肉 3	蓮子 6g
	炒山楂 50g	山楂子 2	山楂子 3g
	六神曲(炒) 80g		
	炒麦芽 50g		
	澤瀉 50g	沢瀉 2	沢瀉 3g
		大棗 1	大棗 2g
		生姜 1 (ヒネショウガを使用する場合 3)	生姜 2g
	大棗,生姜はなくても可		
製法	以上十一味, 粉碎成細粉, 过篩, 混勻。每 100g 粉末加煉蜜 120~140g 制成大蜜丸, 即得。		
用法	口服, 一次 1 丸, 一日 2~3 次; 三岁以内小儿酌減	(1) 散: 1 回 1~2g, 1 日 3 回 (2) 湯	水煎服。
効能・主治	健脾和胃。 用于脾胃虛弱, 消化不良, 腹脹便溏。	体力虛弱で、瘦せて顔色が悪く、食欲がなく、下痢の傾向があるものの次の諸症: 胃腸虛弱、慢性胃腸炎、消化不良、下痢。	補氣健脾・化湿・滋補脾陰。 脾虛湿盛・脾氣陰兩虛。
注意			
掲載頁	779	67	276
その他		原典: 万病回春 出典: 当壯庵家方口解	

No. 7 香砂養胃湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	香砂養胃丸	香砂養胃湯	
処方	木香 210g	木香 1	
	砂仁 210g	縮砂 1.5~2.5	
	白朮 300g	白朮 2.5~3	
		蒼朮 2	
	陈皮 300g	陳皮 2~2.5	
	茯苓 300g	茯苓 2.5~3	
	半夏(制) 300g		
	醋香附 210g	香附子 2~2.5	
	枳实(炒) 210g		
	豆蔻(去壳) 210g	白豆蔻 2 (小豆蔻代用可)	
	姜厚朴 210g	厚朴 2~2.5	
		生姜 0.7~1	
	广藿香 210g		
	甘草 90g	甘草 1.5~2.5	
	人参 1.5~2		
	大棗 1.5~2.5		
製法	以上十二味, 粉碎成细粉, 过筛, 混匀。另取切碎的生姜 90g, 大枣 150g, 分次加水煎煮, 滤过。取上述粉末, 用煎液泛丸, 以总量 5% 的滑石粉—四氧化三铁(1:1)的混合物包衣, 低温干燥, 即得。		
用法	口服, 一次 9g, 一日 2 次。	湯	
効能・主治	温中和胃。 用于胃阳不足、湿阻气滞所致的胃痛、痞满, 症见胃痛隐隐、脘闷不舒、呕吐酸水、嘈杂不适、不思饮食、四肢倦怠。	体力虚弱なもの次の諸症: 胃弱、胃腸虚弱、慢性胃腸炎、食欲不振。	
注意	899	74	
掲載頁			
その他		原典: 万病回春	

No. 8 香砂六君子湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	香砂六君丸	香砂六君子湯	香砂六君子湯
処方	木香 70g		木香 6g
	砂仁 80g	縮砂 1-2	砂仁 6g
	党参 100g		
		人参 3-4	人参 6g
	炒白朮 200g	白朮 3-4 (蒼朮も可)	白朮 9g
	茯苓 200g	茯苓 3-4	茯苓 9g
	炙甘草 70g	甘草 1-1.5	炙甘草 3g
	陈皮 80g	陳皮 2-3	陳皮 6g
	姜半夏 100g	半夏 3-6	半夏 9g
		生姜 0.5-1 (ヒネシヨウガを使用する場合 1-2)	生姜 6g
		香附子 2-3	
		大棗 1.5-2	大棗 2g
	藿香 1-2		
		六君子湯 [人参, 白朮, 茯苓, 半夏, 陳皮, 炙甘草, 生姜, 大棗] に 木香・砂仁。	
製法	以上八味, 粉碎成細粉, 過篩, 混勻。另取生姜 10g, 大棗 20g, 分次加水煎煮, 濾過。取上述粉末, 用煎液泛丸, 低温干燥, 即得。		
用法	口服。一次 6~9g, 一日 2~3 次。	湯	水煎服。
効能・主治	益気健脾, 和胃。 用于脾胃気虚, 消化不良, 噯気食少, 脘腹脹痛, 大便溏泄。	体力中等度以下で, 気分が沈みがちで頭が重く, 胃腸が弱く, 食欲がなく, みぞおちがつかえて疲れやすく, 貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症: 胃炎, 胃腸虚弱, 胃下垂, 消化不良, 食欲不振, 胃痛, 嘔吐	益胃健脾・理気和胃・止痛。 脾胃気虚の寒湿阻滯で、噯気・腹満・腹痛・下痢などを呈するもの。 理気止痛・化湿止瀉の木香と、温胃止嘔・理気止痛・止瀉の砂仁を配合し、吐瀉・腹痛・腹満を解消する。
注意			
掲載頁	897	75	228
その他		原典: 内科摘要	出典: 太平惠民和劑局方

No. 9 杞菊地黄丸

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	杞菊地黄丸	杞菊地黄丸	杞菊地黄丸
処方	枸杞子 40g	枸杞子 4-5 (4-5)	枸杞子 9g
	菊花 40g	菊花 3 (3)	菊花 9g
	熟地黄 160g,	地黄 5 (5-8)	熟地黄 24g
	酒萸肉 80g	山茱萸 3 (3-4),	山茱萸 12g
	牡丹皮 60g	牡丹皮 2-3 (3)	牡丹皮 9g
	山药 80g	山薬 3 (3-4)	山薬 12g
	茯苓 60g	茯苓 3 (3)	茯苓 9g
	泽泻 60g	沢瀉 3(3),	沢瀉 9g
	左側の数字は湯, 右側の() 内の数字は散	六味地黄丸 [熟地黄, 山茱萸, 山薬, 沢瀉, 茯苓, 牡丹皮] に 枸杞子・菊花	
製法	以上八味, 粉碎成細粉, 過篩, 混勻。 毎100g粉末用煉蜜35~50g加适量的 水泛丸, 干燥, 制成水蜜丸; 或加煉蜜 80~110g 制成小蜜丸或大蜜丸, 即 得。		
用法	口服, 水蜜丸一次6g, 小蜜丸一次 9g, 大蜜丸一次1丸, 一日2次。	(1) 散: 1回2g, 1日3回 (2) 湯	記載無し
効能・ 主治	滋腎養肝。 用于肝腎陰亏, 眩暈耳鳴, 羞明畏 光, 迎風流淚, 視物昏花。	体力中等度以上で, 疲れや すく胃腸障害がなく, 尿量減 少又は多尿で, ときに手足の ほてりや口渇があるものの次 の諸症: かすみ目, つかれ 目, のぼせ, 頭重, めまい, 排尿困難, 頻尿, むくみ, 視 力低下	滋腎養肝・明目。 肝腎陰虚による目がかすむ。 視力減退・目の異物乾燥感・風 に当たると涙が出るなどの症 候。
注意			
掲載頁	747	8	248
その他		原典: 医級	

No. 10 五苓散

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剤名	五苓散	五苓散	五苓散
処方	茯苓 180g	茯苓 3~4.5	茯苓 9g
	泽泻 300g	沢瀉 4~6	沢瀉 15g
	猪苓 180g	猪苓 3~4.5	猪苓 9g
	肉桂 120g	桂皮 2~3	桂枝 6g
	炒白朮 180g	蒼朮 3~4.5 (白朮も可)	白朮 9g
製法	以上五味, 粉碎成細粉, 過篩, 混勻, 分装, 即得。		
用法	口服。一次 6~9g, 一日 2 次。	(1) 散:1 回 1~2g 1 日 3 回 (2) 湯	水煎服。散にし 1 回 3~6g ずつ服用してもよい。
効能・主治	温阳化气, 利湿行水。 用于阳不化气、水湿内停所致的水肿, 症见小便不利、水肿腹胀、呕逆泄泻、渴不思饮。	体力に関わらず使用でき、のどが渇いて尿量が少ないもので、めまい、はきけ、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う次の諸症: 水様性下痢、急性胃腸炎(しぶり腹*のものには使用しないこと)、暑気あたり、頭痛、むくみ、二日酔。	利水滲湿・通陽化気。 (1) 蓄水証 (外有表証・内停水湿) 頭痛・発熱・口渴がつよく水分を欲するあるいは水を飲むとすぐに吐く・尿量減少・舌苔が白・脈が浮など。 (2) 霍乱 突然の嘔吐・下痢・尿量減少など。 (3) 水湿内停 浮腫あるいは下痢で、尿量減少をとまなう。 (4) 痰飲 (脾下水気) 臍下の動悸・水様物の嘔吐・めまいなど。
注意			
掲載頁	533	86	457
その他		*しぶり腹とは、残便感があり、くり返し腹痛を伴う便意を催すもののことである。 原典: 傷寒論, 金匱要略	

No. 11 三黄散

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	一清顆粒	三黄散	
処方	大黄 500g	大黄 1-2	
	黄芩 250g	黄芩 1	
	黄连 165g	黄連 1	
製法	以上三味、分別加水煎煮二次、第一次 1.5 小时、第二次 1 小时、合并煎液、滤过、滤液减压浓缩至相对密度约为 1.25(70°C)、喷雾干燥成干浸膏粉。将上述三种浸膏粉合并、加入适量蔗糖与糊精、混匀、制成颗粒、干燥、分装成 125 袋、即得。		
用法	开水冲服、一次 7.5g、一日 3~4 次。	散: 1 回 0.8g 1 日 3 回	
効能・主治	清热泻火解毒、化瘀凉血止血。 用于火毒血热所致的身热烦躁、目赤口疮、咽喉牙龈肿痛、大便秘结、吐血、咯血、衄血、痔血；咽炎、扁桃体炎、牙龈炎见上述证候者。	体力中等度以上で、のぼせ気味で顔面紅潮し、精神不安、みぞおちのつかえ、便秘傾向などのあるものの次の諸症: 高血圧の随伴症状(のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安)、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症*	
注意	出現腹瀉時、可酌情減量。		
掲載頁	402	98	
その他		*血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。 原典: 金匱要略 出典: 中蔵經	

No. 12 三黄瀉心湯

	中国薬典 一清胶囊	一般用漢方処方 三黄瀉心湯	中医臨床 三黄瀉心湯
方剂名			
処方	大黄 2000g	大黄 1-5	大黄 6g
	黄芩 1000g	黄芩 1-4	黄芩 9g
	黄连 660g	黄连 1-4	黄连 3g
製法	以上三味、分別加水煎煮两次、第一次 1.5 小时、第二次 1 小时、合并煎液、滤过、滤液分別减压浓缩、喷雾干燥、制得黄芩浸膏粉及大黄和黄连的混合浸膏粉。两种浸膏粉分別制颗粒、干燥、粉碎、加入淀粉、滑石粉和硬脂酸镁适量、混匀、装入胶囊、制成 1000 粒、即得。		
用法	口服。一次 4 片、一日 2 次、小儿酌减。	湯: (振り出しの場合 1/3 量を用いる)	水煎服。
効能・主治	热解毒、泻火通便。 用于三焦热盛所致的目赤肿痛、口鼻生疮、咽喉肿痛、牙龈肿痛、心烦口渴、尿黄、便秘; 亦用于急性胃肠炎、痢疾。	体力中等度以上で、のぼせ気味で顔面紅潮し、精神不安、みぞおちのつかえ、便秘傾向などのあるものの次の諸症: 高血圧の随伴症状(のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安)、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症*	清心瀉火・解毒・泄熱化湿。 (1) 心火 焦燥感・不眠・多夢・動悸・顔面紅潮・口内炎・舌尖のしみるような痛み・甚だしいと狂躁状態・舌尖が紅・脈が数など。 (2) 血熱妄行 鼻出血・吐血・喀血などの出血に、便秘・尿が濃い・舌質が紅絳・舌苔が黄・脈が数などをともなう。 (3) 三焦熱毒積滞 目の充血や腫脹・口内炎・皮膚の化膿症・煩躁・熱感・尿が濃い・便秘・舌質が紅・舌苔が黄・脈が数で有力など。 (4) 湿熱内蘊(熱重湿輕) 黄疸・胸があつ苦しい・上腹部が痞える・腹満・舌質が紅・舌苔が黄膩など。
注意	出現腹瀉時、可酌情減量。		
掲載頁	401	98	150
その他		*血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。 原典: 金匱要略 出典: 中蔵経	別名: 瀉心湯

No. 13 紫雲膏

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	紫草软膏(紫草膏)	紫雲膏	
処方	紫草 500g	紫根 100-120	
	当归 150g	当歸 60-100	
	防风 150g		
	地黄 150g		
	白芷 150g		
	乳香 150g		
	没药 150g		
		豚脂 20-30	
		黄蠟 300-400	
	ゴマ油 1000		
製法	以上七味, 除紫草外, 乳香, 没药粉碎成细粉, 过筛; 其余当归等四味酌予碎断, 另取食用植物油 6000g, 同置锅内炸枯, 去渣; 将紫草用水湿润, 置锅内炸至油呈紫红色, 去渣, 滤过。另加蜂蜡适量(每 10g 植物油加蜂蜡 2~4g) 融化, 待温, 加入上述粉末, 搅匀, 即得。		
用法	外用, 摊于纱布上贴患处, 每隔 1~2 日换药一次。	外用	
効能・主治	化腐生肌, 解毒止痛。 用于热毒蕴结所致的溃荡, 症见疮面疼痛、疮色鲜活、脓腐将尽。	ひび, あかざれ, しもやけ, 魚の目, あせも, ただれ, 外傷, 火傷, 痔核による疼痛, 肛門裂傷, 湿疹・皮膚炎	
注意			
掲載頁	1152	103	
その他		別名: 潤肌膏 原典: 春林軒膏方	

No. 14 四君子湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	四君子丸	四君子湯	四君子湯
処方	党参 200g		
		人参 3~4	人参 6g
	炒白朮 200g	白朮 3~4 (蒼朮も可)	白朮 9g
	茯苓 200g	茯苓 4	茯苓 9g
	炙甘草 100g	甘草 1~2	炙甘草 6g
		大棗 1~2 生姜 0.5~1	
製法	以上四味, 粉碎成細粉, 過篩, 混勻。 另取生姜 50g、大棗 100g, 分次加水煎煮, 濾過。取上述粉末, 用煎液泛丸, 干燥, 即得。		
用法	口服。一次 3~6g, 一日 3 次。	湯	水煎服。
効能・主治	益氣健脾。 用于脾胃氣虛, 胃納不佳, 食少便溏。	体力虛弱で、瘦せて顔色が悪くて、食欲がなく、疲れやすいものの次の諸症: 胃腸虛弱、慢性胃炎、胃のもたれ、嘔吐、下痢、夜尿症。	益氣健脾。 脾氣虛 疲れやすい・元気がない・食欲不振・消化が悪い・泥状~水様便・排便の回数が多い・顔色が萎黄・声に力がない・四肢の無力感・舌質が淡で嫩・舌苔が白・脈が細で無力など。
注意			
掲載頁	646	106	225
その他		原典: 太平惠民和劑局方 出典: 万病回春	

No. 15 四物湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	四物合剂	四物湯	四物湯
処方	当归 250g,	当帰 3~5	当帰 9g
	川芎 250g	川芎 3~5	川芎 6g
	白芍 250g	芍薬 3~5	白芍 12g
	熟地黄 250g	地黄 3~5	熟地黄 12g
製法	以上四味, 当归和川芎冷浸 0.5 小时, 用水蒸气馏, 收集蒸馏液约 250ml, 蒸馏后的水溶液另器保存, 药渣与白芍、熟地黄加水煎煮三次, 第一次 1 小时, 第二、三次各 1.5 小时, 合并煎液, 滤过, 滤液与上述水溶液合并, 浓缩至相对密度为 1.18~1.22(65°C)的清膏, 加入乙醇, 使含醇量达 55%, 静置 24 小时, 滤过, 回收乙醇, 浓缩至相对密度为 1.26~1.30(60°C)的稠膏, 加入上述蒸馏液、苯甲酸钠 3g 及蔗糖 35g, 加水至 1000ml, 滤过, 灌封, 或灌封、灭菌, 即得。		
用法	口服。一次 10~15ml, 一日 3 次。	(1) 散: 1 回 1.5~2g、1 日 3 回 (2) 湯	水煎服。
効能・主治	养血调经。 用于血虚所致的面色萎黄、头晕眼花、心悸气短及月经不调。	体力虚弱で、冷え症で皮膚が乾燥、色つやの悪い体質で胃腸障害のないものの次の諸症: 月経不順、月経異常、更年期障害、血の道症*、冷え症、しもやけ、しみ、貧血、産後あるいは流産後の疲労回復。	補血調血。 肝血虚・血滞 目がかすむ・目の異物感・めまい・頭のふらつき・頭がぼーっとする・耳鳴・顔色が悪くつやがない・口唇があれ・毛髪につやがない・爪がもろくつやがない・ときに腹痛・月経が遅れる・経血量が少ない・無月経・舌質が淡・脈が弦細あるいは細洪など。
注意			
掲載頁	649	109	234
その他		血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。 原典: 太平惠民和剂局方	

No. 16 十全大補湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	十全大補丸	十全大補湯	十全大補湯
処方	党参 80g		
		人参 2.5~3	人参 6g
	炒白朮 80g	白朮 3~4 (蒼朮も可)	白朮 9g
	茯苓 80g	茯苓 3~4	茯苓 9g
	炙甘草 40g	甘草 1~2	炙甘草 3g
	当归 120g	当帰 3~4	当帰 9g
	川芎 40g	川芎 3	川芎 6g
	酒白芍 80g	芍薬 3	白芍 9g
	熟地黄 120g	地黄 3~4	熟地黄 12g
	炙黄芪 80g	黄耆 2.5~3	黄耆 15g
	肉桂 20g	桂皮 3	肉桂 3g
			生姜 3g
			大棗 2g
			八珍湯 (人参, 白朮, 茯苓, 熟地黄, 当帰, 白芍, 川芎, 炙甘草, 生姜, 大棗)に黄耆, 肉桂。
製法	以上十味, 粉碎成細粉, 過篩, 混勻。毎100g粉末用煉蜜35~50g加适量的水泛丸, 干燥, 制成水蜜丸; 或加煉蜜100~120g 制成大蜜丸, 即得。		
用法	口服。水蜜丸一次1丸, 大蜜丸一次1丸, 一日2~3次。	湯 (原則として)	水煎服。
効能・主治	温補気血。 用于気血兩虚, 面色蒼白, 气短心悸, 头晕自汗, 体倦乏力, 四肢不温, 月経量多。	体力虚弱なもの次の諸症: 病後・術後の体力低下, 疲労倦怠, 食欲不振, ねあせ, 手足の冷え, 貧血。	温補気血 気血兩虚。
注意			
掲載頁	419	115	485
その他		原典: 太平惠民和剂局方	

No. 17 小建中湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剤名	小建中合剤	小建中湯	小建中湯
処方	桂枝 111g	桂皮 3~4	桂皮 9g
	白芍 222g	芍薬 6	白芍 18g
	甘草(蜜炙) 74g	甘草 2~3	炙甘草 6g
	生姜 111g	生姜 1~1.5 (ヒネショウガを使用する場合 3~4)	生姜 9g
	大枣 111g	大棗 3~4	大棗 4g
		膠飴 20 (マルツエキス, 滋養糖可, 水飴の場合 40)	膠飴 30g
製法	以上五味, 桂枝蒸餾提取揮発油, 蒸餾後の水溶液另器収集; 药渣与炙甘草、大枣加水煎煮二次, 每次 2 小时, 合并煎液, 滤过, 滤液与蒸餾後の水溶液合并, 浓缩至约 560ml; 白芍、生姜用稀乙醇作溶剂, 浸渍 24 小时后进行渗漉, 收集漉液, 回收乙醇后与上述药液合并, 静置, 滤过, 另加饴糖 370g, 再浓缩至近 1000ml, 加入苯甲酸钠 3g 与桂枝揮发油, 调整总量至 1000ml, 搅匀, 即得。		
用法	口服, 一次 20~30ml, 一日 3 次, 用时摇匀。	湯	前 5 味を水煎して滓を去り、膠飴を溶かして分二で温服する。
効能・主治	温中補虚, 缓急止痛。 用于脾胃虚寒, 脘腹疼痛, 喜温喜按, 嘈杂吞酸, 食少; 胃及十二指肠溃疡见上述证候者。	体力虚弱で、疲労しやすく腹痛があり、血色がすぐれず、ときに動博、手足のほてり、冷え、ねあせ、鼻血、額尿および多尿などを伴うものの次の諸症: 小児虚弱体質、疲労倦怠、慢性胃腸炎、腹痛、神経質、小児夜尿症、夜泣き。	温中補虚・和裏緩急。 中焦虚寒・脾虚肝乘。ひきつるような腹痛があり温めたり押さえると軽減する・動悸・焦燥感・顔色につやがない・四肢がだるく痛む・手足のほてり・咽や口の乾燥感・舌質が淡・舌苔が白・脈が弦細で緩など。
注意			
掲載頁	507	120	199
その他	小建中顆粒有。	原典: 傷寒論, 金匱要略	

No. 18 小柴胡湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	小柴胡片	小柴胡湯	小柴胡湯
処方	柴胡 445g	柴胡 5~8	柴胡 15g
	姜半夏 222g	半夏 3.5~8	半夏 9g
	生姜 167g	生姜 1~2 (ヒネショウガを使用する場合 3~4)	生姜 9g
	黄芩 167g	黄芩 2.5~3	黄芩 9g
	甘草 167g	甘草 1~3	炙甘草 6g
	大枣 167g	大棗 2.5~3	大棗 4g
	党参 167g		
		人参 2.5~3	人参 6g
	以上七味、党参 45g 及甘草 45g 粉碎成细粉；剩余的党参与甘草、柴胡、黄芩、大枣加水煎煮二次，每次 1.5 小时，合并煎液，滤过，滤液浓缩至适量；姜半夏、生姜用 70% 的乙醇作溶剂，浸渍 24 小时后，缓缓渗滤，收集滤液约 1670ml，回收乙醇，与上述浓缩液合并，浓缩成稠膏，加入上述细粉及适量辅料，混匀，干燥，粉碎成细粉，制颗粒，干燥，压制成 1000 片，或包薄膜衣，即得。		
製法	口服。一次 4~6 片，一日 3 次。	湯	水煎服。
用法	解表散热，疏肝和胃。 用于外感病，邪犯少阳证，症见寒热往来、胸胁苦满、食欲不振、心烦喜呕、口苦咽干。	体力中等度で、ときに脇腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつくものの次の諸症：食欲不振、はさけ、胃炎、胃痛、胃腸虚弱、疲労感、かぜの後期の諸症状。	和解少陽(通調少陽枢機・達邪外解)。少陽半表半裏証。 (1) 風寒散漫少陽 往来寒熱・胸脇部が張って苦しい・食欲不振・胸苦しい・悪心・口が苦い・咽の乾燥感・目がくらむ・舌苔が薄白・脈が弦など。 (2) 熱入血室 往来寒熱・胸脇部が張って痛む・下腹部が硬くなり痛む・夜になると言語錯乱や意識の異常が生じる・月経が途中で停止したり月経期ではないのに来潮する・身体が重い・頭汗・舌苔が薄白・脈が弦など。
効能・主治			
注意	509	122	94
掲載頁		別名：三禁湯	
その他		出典：傷寒論	

No. 19 小青竜湯

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	小青龍顆粒	小青竜湯	小青竜湯
処方	麻黄 154g	麻黄 2-3.5	麻黄 9g
	桂枝 154g	桂皮 2-3.5	桂枝 6g
	白芍 154g	芍薬 2-3.5	白芍 9g
	乾姜 154g	乾姜 2-3.5	乾姜 3g
	細辛 77g	細辛 2-3.5	細辛 3g
	炙甘草 154g	甘草 2-3.5	炙甘草 6g
	法半夏 231g	半夏 3-8	半夏 9g
	五味子 154g	五味子 1-3	五味子 3g
製法	以上八味、細辛、桂枝提取揮発油、蒸留後の水溶液另器収集；薬渣と白芍、麻黄、五味子、甘草加水煎煮至味尽、合并煎液、濾過、濾液和蒸留後の水溶液合并、浓缩至約 1000ml；法半夏、干姜粉碎成粗粉、用 70%乙醇作溶剤、浸漬 24 小时后、进行滲漉、漉液回收乙醇、与上述薬液合并、静置、濾過。濾液浓缩至适量、喷雾干燥、加乳糖适量、混勻、噴加上述細辛、桂枝的揮発油、混勻、制成顆粒、制成 461.5g；或濾液浓缩至适、加入蔗糖粉适量、混勻、制成顆粒、干燥、噴加細辛和桂枝的揮発油、混勻、制成 1000g、即得。		
用法	开水冲服、一次 6g(无糖型)或一次 13g、一日 3 次。	湯	水煎し分三で温服する。
効能・主治	解表化飲、止咳平喘。 用于风寒水飲、惡寒发热、无汗、喘咳痰稀。	体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症	滲飲解表・温肺降逆 (1) 風寒束表・水飲内停 惡寒・発熱・無汗・咳嗽・呼吸困難・稀薄な痰・口渇がない・舌苔が潤滑・脈が浮緊など。 (2) 痰飲の喘咳 発作性の咳嗽・呼吸困難・喘鳴・舌苔が白膩など。 (3) 風水 突発する全身の浮腫・身体が重だるく痛むなど。表証をともなうことがある。
注意			
掲載頁	505	125	37
その他		原典：傷寒論、金匱要略	

No. 20 逍遙散(八味逍遙散)

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	逍遙丸	逍遙散(八味逍遙散)	逍遙散
処方	柴胡 100g	柴胡 3~4.5	柴胡 9g
	当帰 100g	当帰 3~4.5	当帰 9g
	白芍 100g	芍薬 3~4.5	白芍 9g
	炒白朮 100g	白朮 3~4.5 (蒼朮も可)	白朮 9g
	茯苓 100g	茯苓 3~4.5	茯苓 9g
	炙甘草 80g	甘草 1.5~3	炙甘草 4.5g
	薄荷 20g	薄荷葉 1~2.1	薄荷 1g
		生姜 0.5~1	煨姜 3g
製法	以上七味, 粉碎成細粉, 過篩, 混勻。 毎 100g 粉末加煉蜜 135~145g 制成 大蜜丸, 即得。		
用法	口服。一次 1 丸, 一日 2 次。	湯	水煎服。上記の割合で丸剤に し、1日2~3回6~9gずつ服用 してもよい。
効能・ 主治	疏肝健脾, 养血調經。 用于肝郁脾虛所致的鬱悶不舒, 胸脇 脹痛, 頭暈目眩, 食欲減退, 月經不 調。	体力中等度以下で、肩がこ り、疲れやすく精神不安など の精神神経症状、ときに便秘 の傾向のあるものの次の諸 症: 冷え症、虚弱体質、月經 不順、月經困難、更年期障 害、血の道症*、不眠症、神 経症。	疏肝解鬱・健脾和營。 肝鬱血虛・脾失健運。ゆううつ 感・いらいら・胸脇痛。寒くなっ たり熱くなったりする。頭痛・め まい・口や咽の乾燥感・月經不 順・経血量が少ない・乳房が脹 って痛む・食欲がない・疲れや すい・脈が弦で無力など。
注意			
掲載頁	994	132	112
その他	逍遙丸(大蜜丸・水丸), 逍遙顆粒、 有り	* 血の道症とは、月經、妊 娠、出産、産後、更年期など 女性のホルモンの変動に伴 って現れる精神不安やいらだ ちなどの精神神経症状およ び身体症状のことである。 原典: 太平惠民和劑局方	

No. 21 参蘇飲

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	参苏丸	参蘇飲	参蘇飲
処方	党参 75g		
		人参 1.5-2	人参 25g
	紫苏叶 75g	蘇葉 1-3	紫蘇葉 25g
	葛根 75g	葛根 2-6	葛根 25g
	前胡 75g	前胡 2-6	前胡 25g
	茯苓 75g	茯苓 3	茯苓 25g
	半夏(制) 75g	半夏 3	半夏 25g
	陈皮 50g	陳皮 2-3	陳皮 15g
	枳壳(炒) 50g	枳実 1-3	枳殼 15g
	桔梗 50g	桔梗 2-3	桔梗 15g
	甘草 50g	甘草 1-2	甘草 15g
	木香 50g	木香 1-1.5	木香 15g
		大棗 1.5-2	
	生姜 0.5-1 (ヒネショウガを使用する場合 1.5-3, 生姜の代わりに乾姜も可)		
	木香はなくても可		
製法	以上十一味, 粉碎成细粉, 过筛, 混匀。另取生姜 30g、大枣 30g, 分次加水煎煮, 滤过。取上述粉末, 用煎液泛丸, 干燥, 即得。		
用法	口服, 一次 6~9g, 一日 2~3 次。	湯	粗末にし 1 回 12g を生姜・大棗と水煎し分三で服用してもよい。
効能・主治	益気解表, 疏風散寒, 祛痰止咳。用于身体虚弱、感受风寒所致感冒, 症见恶寒发热、头痛鼻塞、咳嗽痰多、胸闷呕逆、乏力气短。	体力虚弱で, 胃腸が弱いものの次の諸症:感冒, せき	益気解表・理気化痰。気虚・外感風寒・内有痰飲。悪寒・発熱・頭痛・鼻閉・咳嗽・多痰・胸苦しい・腹満・舌苔が白・脈が弱など。
注意			
掲載頁	860	137	55
その他		原典:太平惠民和剂局方	

No. 22 参苓白朮散

	中国薬典	一般用漢方処方	中医臨床
方剂名	参苓白朮散	参苓白朮散	参苓白朮散
処方	人参 100g	人参 1.5-3	人参 9g
	茯苓 100g	茯苓 1.5-4	茯苓 9g
	白朮(炒) 100g	白朮 1.5-4	白朮 9g
	山药 100g	山薬 1.2-4	山薬 9g
	白扁豆(炒) 75g	扁豆 1-4	白扁豆 6g
	莲子 50g	蓮肉 0.8-4	蓮子 4.5g
	薏苡仁(炒) 50g	薏苡仁 0.8-8	薏苡仁 4.5g
	砂仁 50g	縮砂 0.8-2	砂仁 4.5g
	桔梗 50g	桔梗 0.8-2.5	桔梗 4.5g
	甘草 100g	甘草 0.8-2	炙甘草 9g
製法	以上十味, 粉碎成細粉, 過篩, 混勻, 即得。		
用法	口服, 一次 6~9g, 一日 2~3 次。	(1) 散: 1 回 1.5-2g, 1 日 3 回 (2) 湯	水煎服。細末にし 1 回 6~9g を大棗の煎汁で服用してもよい。
効能・主治	補脾胃, 益肺氣。 用于脾胃虛弱, 食少便溏, 氣短咳嗽, 肢倦乏力。	體力虛弱で, 胃腸が弱く, 瘦せて顔色が悪く, 食欲がなく下痢が続く傾向があるものの次の諸症: 食欲不振, 慢性下痢, 病後の体力低下, 疲労倦怠, 消化不良, 慢性胃腸炎	益氣健脾・滋補脾陰・滲湿止瀉。 (1) 脾氣陰兩虛 食欲不振・食べると腹が脹る・顔色が萎黄・口唇の乾燥・口乾・手足のほてり・元気がない・疲れやすい・便秘あるいは泥状便・舌質が紅絳で胖・舌苔が少ないあるいは剥落・脈は細やや数で無力など。 (2) 脾虚湿盛 食欲不振・泥状~水様便・腹滿・悪心・多痰・咳嗽・白色帶下・下肢浮腫・舌質が淡胖・舌苔が白膩・脈が沈細で無力など。
注意			
掲載頁	860	137	274
その他		原典: 太平惠民和劑局方	